

会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成25年度第8回定例会会議記録
開催日時	平成25年11月20日(水曜日) 午後6時30分から8時30分まで
開催場所	田無公民館 第二学習室
出席者	委員：中曾根聡、渡辺文子、武司一郎、野間春二、瀬川容子、馬場真由美、糸山時子、真鍋五十鈴、畠山昭裕、西原みどり、上田幸夫、新藤浩伸 職員：田中館長、大平主幹、川口館長補佐、小笠原分館長、石川分館長、長谷部分館長、平井分館長、鴨志田龍子
欠席者	委員：野澤幸美、小林克彦
議題	1 第7回定例会の記録について 2 報告事項 行政報告 (2)公民館だより編集室報告 (3)利用者懇談会報告 (4)教育計画策定懇談会報告 3 事業計画書・事業報告書について 4 協議事項 芝久保公民館臨時利用者懇談会について 第51回東京都公民館研究大会について 5 事務連絡及び情報交換
会議資料の名称	資料1 教育計画策定懇談会関係資料(抜粋) 資料2 公民館市民企画事業一覧表(22年度～24年度) 資料3 第55回関東甲信越静公民館研究大会チラシ 資料4 谷戸公民館主催・上田幸夫先生による講演会資料 資料5 田無公民館主催・新藤浩伸先生による講演会資料 資料6 第51回東京都公民館研究大会開催要項 資料7 西東京市公民館運営審議会平成25年度第8回定例会次第 資料8 平成25年度第7回定例会会議録 資料9 公民館だより編集室報告 資料10 利用者懇談会報告(6館)
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
傍聴者	有り 無し
会議内容	
<p>議題1 第7回定例会の記録について 欠席者の「西原みどり」を「馬場真由美」に変更</p> <p>議題2 報告事項 (1)行政報告 ・11月18日の午後に、田無庁舎で火災が発生したことを前提に周辺施設である田無公民館も含めた避難訓練が開催された。計8人の公民館職員が参加した。</p> <p>(2) 公民館だより編集室報告 ・報告書のとおり</p> <p>(3)利用者懇談会報告</p>	

・報告書のとおり

質疑等

・懇談会では、利用者から毎回部屋の予約がとりにくいとの意見が出されているが、利用区分については、6館共通の課題なので検討してほしい。

毎月、6館合同職員会議を実施している。従来からも公民館の共通の課題はその場で話し合いを実施している。この件も議題として取り上げたい。

・保谷駅前公民館の利用者懇談会の開催時間は、夜間に設定していたが、これが参加者の今回少なかったことに影響したのではないか。PRが足りなかったのは反省ではあるが、その中でも要望や意見を十分だせた。利用者懇談会の中で出された意見が出しっぱなしの印象もあり、次回3月の利用者懇談会で公民館から、回答していただくことは可能か。

可能である。

・参加して、良かった。充実していたと思われる内容にしてほしい。

・各公民館では、様々な工夫、努力をしていることを感じた。

・柳沢、田無、芝久保公民館の懇談会では、部屋の共同使用の意見交換がされていた。このような、参加者の主体的で前向きな議論はとてもよかった。

・部屋の共同使用の特例使用について、条例規則の明文化はあるのか。

条例規則の明文化はない。

・使用料が無料だからこそできる利用者同士の工夫やりくりだろう。今後、この制度の積極的なPRが必要と思われる。

・開催日時と参加者の関係はどのようか。

夜間、土曜日、日曜日、平日開催は、それぞれの公民館の地域性、場所の問題もあり、一律に結論が出せない。

・懇談会にグループワークの手法を導入した公民館は、やはり参加者の本音が出しやすい。また、熱心な話し合いができてよい。

・ベビーベッドを女性用トイレに設置するだけではなく、子育て男性の増加もあることから男女共同で使用できるよう設置してほしいとの意見が出されていた館もあった。このような視点が出される話し合いに感心した。

(4) 教育計画策定懇談会報告

資料1の教育計画策定懇談会関係資料（抜粋）について紹介。

現在、パブリックコメントを募集中。締切は11月1日から12月2日まで。

議題3 事業計画書・報告書について

平成25年度公民館主催事業企画書（13件）、報告書（3件）

（事業計画書）

谷戸公民館：

「地域の人に学ぶ講座 リバーシブルマフラーを作ろう」

・前回からの課題の中で、教えたい人と学びたい人をつなげる講座の企画との記載があるが、今回の講師はどのような方なのか教えてほしい。教えたい人を講師として依頼する場合は、しっかりした確認、打ち合わせをしてほしい。

今回、依頼する講師は、公民館から依頼した講師である。

○保谷駅前公民館：

「防災安全講座 公民館で歌おう」

・講師が音楽関係の方であるが、なぜ防災安全講座であるのに音楽関係の講師なのか。また、防災と音楽をどのように結びつけるか教えてほしい。

講師は登録団体の方であり、サークルの活性化にもつなげたいと考えた。

公民館が帰宅困難者のための一時滞在施設であることの周知を目的に、多くの方が親しみやすい工夫で企画した

・防災安全講座の中で、公民館で歌を歌うことが、そのねらいと方法に整合性ももたせることができないと思う。

・このテーマで、この内容で本当に効果がしっかり考えられているのか。もっとわかりやすいテーマ「歌を歌おう」でよい講座ではないかと思う。

保谷駅前公民館：

「食育講座 男性のため料理入門」

・テーマはよいと思うが、対象が在住在勤在学の男性、平日の午前の設定であるなら、一人暮らしの高齢者が対象でよかったのではないか。

実際は、一人暮らしの高齢者の参加を狙っている。

保谷駅前公民館：

「インターネット講座Ⅰ」

・携帯電話の貸出しはあるのか。

携帯電話は、一人一台貸出し予定である。

○芝久保公民館：

「地域で創る教育ネットワーク講座 地域で安全安心をつくるネットワーク」

・前回からの課題の中で、この説明からでは講座内容全体がわかりにくい。講師との関連性もまたわかりにくい。

・この程度の企画書が提出されてきては、西東京市の現状は危機的状況と言わざるを得ないのでは。

・講師の肩書も古く情報不足でないか。天野講師の位置づけも難しく、この内容で講師の選択をしっかりと考えているのか。

この講座は企画実行委員会形式で委員のみなさんと一緒に進めている。広く青少年問題を地域課題の中で解決するためのネットワークづくりから、地域づくりを目指している。

・前回からの課題の中の主旨説明では、わざわざ福島県から来ていただく講師の方を十分に活用できていないのではないか。

・謝金の額は、どうなっているのか。

規定の金額である。

・交通費で謝金は消えてしまう。

・この講師は、東日本大震災の災害における復興支援に尽力を振るわれた方として、脚光を浴びている方でもある。この講座では、この方をもっと有効に活用していただく筋立てができると思うのだが、内容の練り直しが必要である。

・この講座は、数年前から継続して実施している講座であり、地域の青少年の居場所を地域の様々な立場の方が、一緒に考える講座内容からのスタートだったと記憶している。今回は、その発展系であったのだが、過去からの一連の流れがわかっているならば、なるほどと思う講座である。企画書の文書のまとめ方、プレゼンの仕方の工夫がもう少し必要であったのだろう。

○ひばりが丘公民館：

「戯曲を書いてみよう」

・タイトルの「戯曲を書いてみよう」では、若い世代を引き付ける発信力には繋がらないと思う。

当初、シナリオであったが、講師に適任者が見つからず、戯曲という形になった。若い世代を対象とい

うよりは、良ければ若い方もどうぞという意味ということである。

・講座の目標は高くてもよいと思うが、若者の目線に沿った工夫をしないと彼らが集まらないことが危惧される。

公民館職員としては、日常の地道な若い世代との人間関係づくりが重要かつ必要であると思っている。若い世代を引き付ける強力かつ特効薬的なものはないと思うが、PRやキャッチフレーズ、組み立てを含め、不断の努力と工夫は当然していく予定である。

議題4 協議事項

芝久保公民館臨時利用者懇談会(公共施設の適正配置等の報告も含む)について

田無公民館の耐震対応

・耐震診断の速報値が出され、耐震診断結果より緊急な対応は必要なしとなった。田無庁舎の建て替え、市民会館の建て替え、また、図書館の蔵書庫問題等の検討結果を踏まえ、複合的要素が多く確定値は26年3月となる。

ひばりが丘または谷戸公民館の市民交流施設見直し検討

- ・市民交流施設への転換はなくなった。
- ・両館の近接性についての問題の解消には至っていない。
- ・今後も公民館としての検討していく課題である。
- ・また、ひばりが丘と谷戸公民館のどちらかのサテライト化などについては、26年度の検討課題となる。

芝久保公民館の一部転用等の検討について

・夜間の第一、第二学習室、和室の3つの部屋は利用率が低く、当初の蔵書庫としての活用が検討されたが、図書の重量に対応するための付帯経費が莫大なることから、断念することになる。

・夜間の第二学習室に限って、自習室として個人に開放することに決定。費用対効果も考慮し、1年間の試行期間で実施する。

- ・夏休み期間を視野に入れ、26年6月開始を目指す。
- ・第二学習室のドアののぞき窓の設置工事の予算計上をしていく。
- ・防犯ベルの貸出し、防犯ブザー設置を予定。
- ・市民、利用者へのPRは、第一、第二学習室の午前午後夜間を一度でも利用したサークル団体にはがきで通知。

12月1日号公民館だより、ポスター等で広く市民に周知する。

・12月19日(木曜日)の第一学習室・午後7時～、21日(土曜日)の第二学習室・午前10時から芝久保公民館で臨時利用者懇談会を開催。

質疑等

- ・サテライト化について、具体的にどう変わるのか。
該当公民館は、分館長が不在となる。利用形態は、現段階では変わらない。
- ・両館の隣接であるからのサテライト化について検討は、現状の利用者が多い実態の中で疑問がある。公共施設の適正配置計画からの議論であり、公民館に限らず、他の公共施設を含めた問題である。
- ・芝久保公民館臨時利用者懇談会は、決定事項の説明会という主旨で考えてよいのか。
詳細に説明して、試行していくことになる。
- ・前回の説明では、ひばりが丘公民館と谷戸公民館地域の文化、地域性が異なるとの話題もあったようだが。

来年3月までに、ひばりが丘公民館と谷戸公民館で報告書をまとめることになっている。

(2) 第51回東京都公民館研究大会について

開催日：26年1月18日(土曜日)

申込締切日：12月6日まで

多くの委員の皆様の参加をお願いしたい。

その他

都公連委員部会運営委員会報告

第2回研修について

- ・日時 12月1日（日曜日）受付 午後1時30分～ 講演 午後2時～（講演時間80分 質問 30分）
- ・講師 伊東静一氏(元福生市公民館長)
- ・演題テーマ 多摩の公民館の今日的課題

柳沢公民館防災訓練

- ・日時 11月24日（日曜日）午前10時～

質疑

- ・公民館の災害用備蓄品はあるのか。
5年保存の光媒体の飲料水、アルファーマ(柳沢公民館のみ)、毛布...(柳沢公民館の実例から)

次回の日程について

12月18日(水曜日)午後6時30分～7時45分を予定 於:田無公民館 第二学習室